

動き出した2025年大阪・関西万博



出典：経済産業省パンフレット

一般社団法人 2025年日本国際博覧会協会 総務部長
(大阪府政策企画部 副理事)
芳本 竜一

万博って何？

■ 万博によって国の文化や時代が変わる契機に

1851年ロンドン万博



1964年ニューヨーク万博



1889年パリ万博



■ 万博によって国の文化や時代が変わる契機に

【万博がきっかけで生まれたもの、広がったもの】

- エレベーター（1853年ニューヨーク万博）
- 電話（1876年フィラデルフィア万博）
- ファミレス/電気自動車/動く歩道（1970年大阪万博）
- ICチップ入り入場券、AED（2005年愛知万博）

<1970年 大阪万博>



ワイヤレステレホン

<2005年 愛知万博>



ドライミスト

■ 万博の変遷

世界中の人々が参加する国家プロジェクト

〔人類共通の課題を解決する場〕

《20世紀まで》

国威発揚型

総会決議
B I E

1994年

「人類共通の課題の
解決策を提示」

《21世紀から》

理念提唱型

国際博覧会条約に基づく2種類の国際博覧会

登録博覧会

【大規模博覧会】

- ・5年に1回開催
- ・期間は6か月以内
- ・100ha以上

【国内での開催実績】

- ・大阪万博（1970）
- ・愛知万博（2005）



認定博覧会

【小規模博覧会】

- ・2回の登録博の間に1回開催
- ・期間は3か月以内
- ・25ha以内

【国内での開催実績】

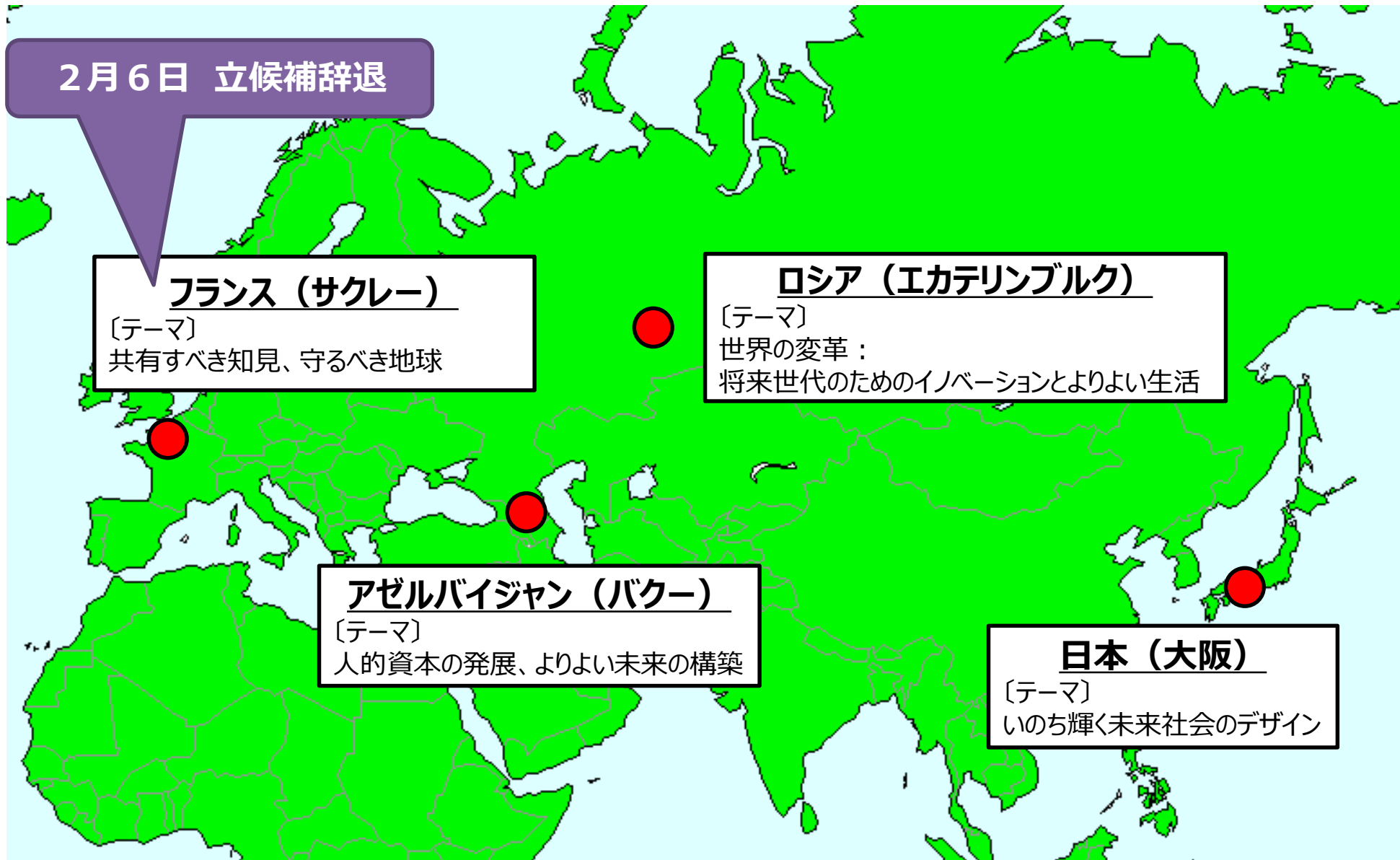
- ・沖縄国際海洋博覧会（1975）
- ・国際科学技術博覧会（1985）
- ・国際花と緑の博覧会（1990）



2025年に大阪・関西が開催するは大規模な「登録博覧会」

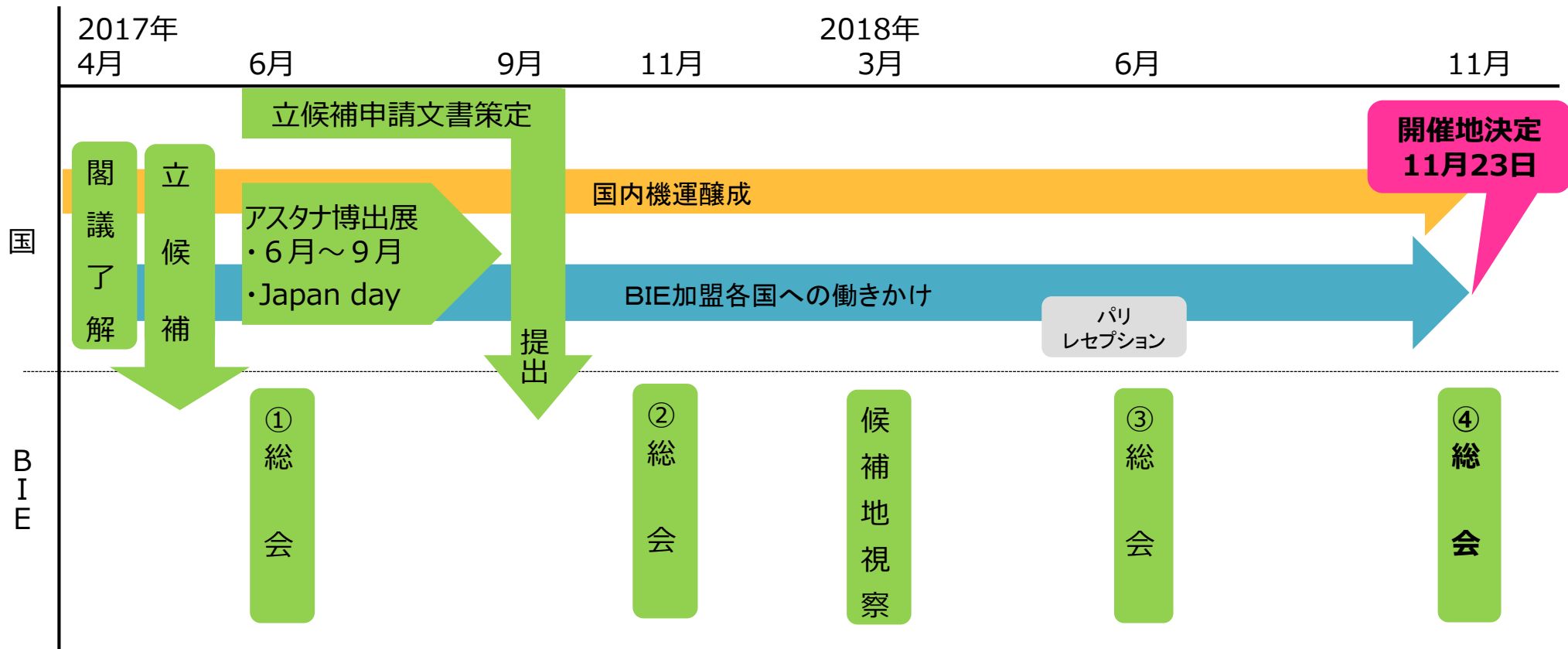
万博誘致活動

■ 2025年国際博覧会の立候補国



立候補から開催地決定まで

- 日本は、2017年4月に閣議了解のうえ、BIEへ立候補表明文書を提出
- 2017年9月には、立候補申請文書(ビッド・ドシエ)を提出
- 同年11月には2回目のプレゼン。2018年3月にはBIE調査団が現地視察
- 2018年6月には3回目のプレゼンとレセプションを開催。**2018年11月の総会で日本開催が決定**



①～③の総会でプレゼンを実施

④の総会は加盟国による投票

■ 2025年国際博覧会の開催国決定投票の結果

2018年11月23日（金）に開催された第164回BIE総会において、BIE加盟国による投票が実施された。

■ 第1回投票	156票
◎日本	85票
◎ロシア	48票
アゼルバイジャン	23票



■ 決選投票	155票
◎日本	92票
ロシア	61票
棄権	2票

※BIE加盟国は170カ国（2018年11月時点）

B I E 総会出席者

(政府)

経済産業省 世耕 弘成（経済産業大臣）
外務省 阿部 俊子（外務副大臣）

(2025日本万国博覧会誘致委員会)

会長 榊原 定征（日本経済団体連合会会長）
会長代行 松井 一郎（大阪府知事）
会長代行 松本 正義（（公社）関西経済連合会会長）
副会長 尾崎 裕（大阪商工会議所会頭）
副会長 吉村 洋文（大阪市長）
副会長 黒田 章裕（関西経済同友会代表幹事）
副会長 池田 博之（関西経済同友会代表幹事）

(国会議員)

衆議院議員 河村 建夫（2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟事務総長）
衆議院議員 竹本 直一（2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟事務局長）

大阪・関西万博 の概要

■ 2025年万博誘致計画

■ テーマ 「いのち輝く未来社会のデザイン」
～Designing Future Society for Our Lives～

■ サブテーマ
○ 多様で心身ともに健康な生き方 ○ 持続可能な社会・経済システム

■ コンセプト 未来社会の実験場“People’s Living Lab”

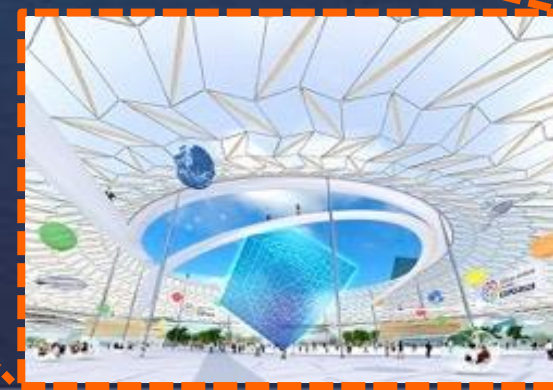


■ 開催期間 2025年5月3日(土)～11月3日(月)

■ 開催場所 夢洲(人工島) 約155ha

■ 入場者想定規模 約2800万人

■ 全国への経済波及効果 1.9兆円



■ なぜ、今、万博なのか

- 2020年オリンピック・パラリンピック後の成長の起爆剤に。
- 万博は、一過性のイベントではない。

■ 万博が持つパワー

- ・圧倒的な求心力・発信力
- ・世界との出会いによる人の交流促進

イノベーションを引き起こし、
2020年以降も成長を持続させる起爆剤に
⇒ 経済活性化、インバウンド

■ 万博は一過性のイベントではない

- ・世界中から英知が結集
- ・人々の活発な交流によるイノベーションの創出

21世紀の万博は、人類共通の課題に対する解決策を世界へ提示するものに。
これからの万博は、さらに進化し、社会を変容させる「新しい博覧会」へ。

大阪・関西・日本の社会を変える。それを世界に発信して世界を変える

■ ビッグプロジェクトとの連動

- ◆スポーツを通じた健康維持や健康寿命の延伸など、2020年のオリンピックとその前後のスポーツイベント（ラグビーW杯など）との連動による途切れのない事業展開を実現
- ◆東西二極の一極にふさわしいインフラ整備・まちづくりとの連動
⇒大阪・関西全体の持続的成長の起爆剤に

2031年なにわ筋線開業

リニア中央新幹線開業
(2027年名古屋まで、2037年大阪まで)

2025年 国際博覧会

2023年 うめきた2期一部まちびらき、新名神高速道路全線供用

ワールドマスタースゲームズ関西2021

2020年オリンピック・パラリンピック

2019年ラグビーワールドカップ



OSAKA-KANSAI/JAPAN
EXPO2025



World Expo 2025
Candidate



WORLD
MASTERS
GAMES
2021 KANSAI



RUGBY
WORLD CUP™
JAPAN日本2019

■ 世界有数の、ライフサイエンス関連のポテンシャル

- 大阪、神戸、京都の約1時間圏での移動距離内に、研究機関、企業が集積する世界的なライフサイエンスクラスターが形成されている。
- 空港はじめ交通網も整っており、域内外のネットワークも充実。
- 「つくれないものはない」と言われるほど高い中小企業の技術力

関西のライフサイエンスクラスター



(出典: iPS細胞研究所HP)

大阪の主な医療・研究機関



■ 2025日本万国博覧会のテーマ

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン
「Designing Future Society for Our Lives」

サブテーマ

- ◆多様で心身ともに健康な生き方
- ◆持続可能な社会・経済システム
- 「体験」「交流・対話」「科学・技術」「多様な文化・思想」を通じて、
テーマ・サブテーマや基本理念を実感できる万博とする。

基本理念

「参加者と共に創りあげる万博」

- 一人一人のいのちが輝く生き方
- それを可能にする社会・経済の未来像を示す

■ 2025万博のコンセプト／SDGsの達成をめざして

- 2015年国連サミットで、2030年までの国際目標として、「**持続可能な開発のための2030アジェンダ**」を採択
 - 2030アジェンダでは、**17のゴール**からなる「**持続可能な開発目標（SDGs）**」を掲げている。
- ※SDGs：Sustainable Development Goals

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任、つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう
- 16 平和と公正を全ての人に
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう

会場へのアクセス

- 会場アクセスは、公共交通機関とシャトルバスを想定
- 検証の結果、来場者2,800万人の輸送は可能



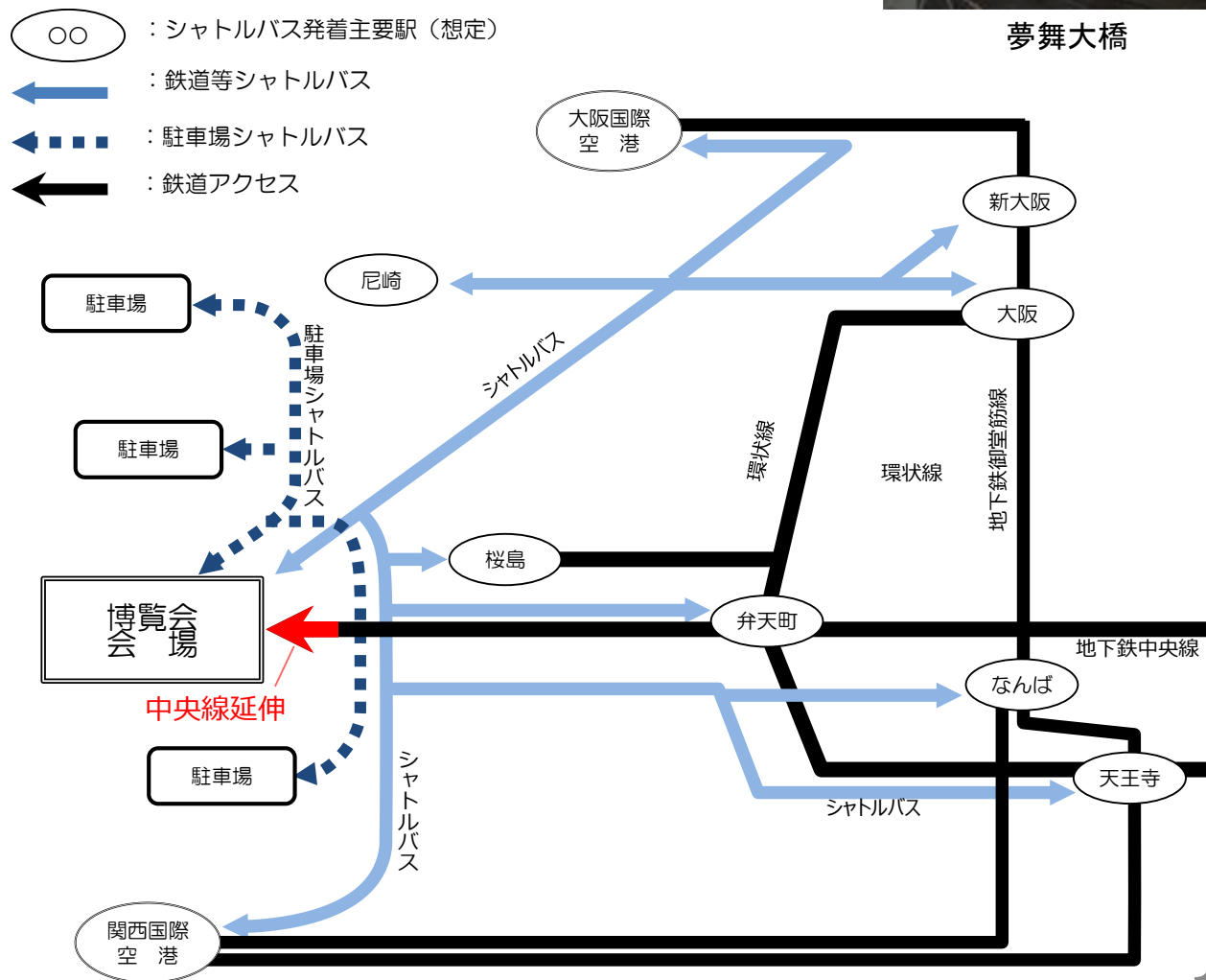
夢舞大橋

《公共交通機関》

- 地下鉄中央線の延伸に伴う
夢洲駅（仮称）へのアクセス
- 大阪市内主要駅から
シャトルバスを運行

《自家用車》

- 会場内には乗り入れさせない
- 会場周辺部に整備された
駐車場からシャトルバスに
乗り換え、会場にアクセス



夢咲トンネル(夢洲側)

■ 資金計画案（Bid Dossierの概要より）

（単位：億円）

収 入		支 出	
日本政府	4 1 7	会場建設費	1, 2 5 0
地元自治体（大阪府市）	4 1 7		
民間資金など	4 1 7		
敷地・出展スペース賃料	1 4	事業運営費	8 2 0
入場券売上げ	7 4 1		
飲食・物販等売上げの ロイヤリティ収入	5 2		
供給処理施設収入	1 2		
関連する地方自治体など	7 3 0	関連事業費	7 3 0
合 計	2, 8 0 0	合 計	2, 8 0 0

■ 会場構想①（会場計画）

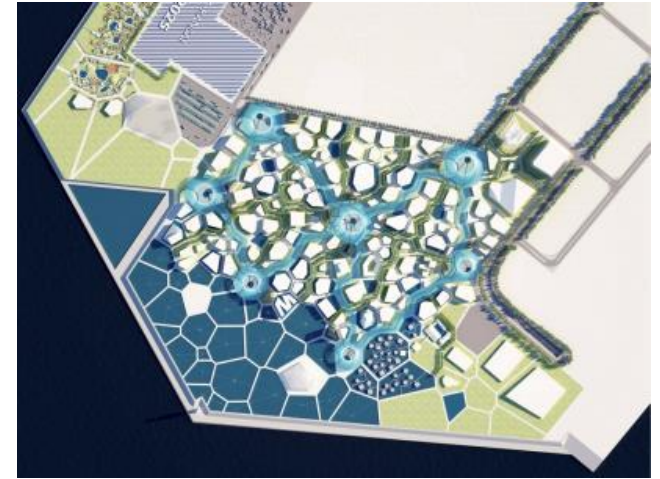
■ 会場計画のコンセプト：未来社会

- ・ボロノイパターン

あえて中心をつくらない離散型の会場デザイン

- ・多様性の中から生まれる調和と

共創によって形成される未来社会を表現



■ 会場デザイン

- ・会場内の5か所に「空」（くう）と

呼ばれる大広間を設置

- ・AR（拡張現実）やMR（複合現実）

の技術を活用した展示、イベントなどを

行い、来場者の交流の場となる



■ 10歳若返る万博、健康になる万博

■「EXPOテーマ体験」プログラム

- ・来場前にPeople's Living Labの特設サイト上のバーチャル会場で出迎えの演出
- ・来場者へのオリエンテーションとガイダンスを通して、テーマやメッセージを映像や展示を中心に紹介
- ・未来社会の共創の体験ができるプログラムを実施



■「待ち時間ゼロ」の万博

- ・会場内の移動時間等を活用した参加型実証実験を行うことで、体験あふれる環境を提供
- ・IoT活用により、施設の空き状況を明確化し、会場を快適に巡ることができる



■ 2025年日本国際博覧会協会の概要

国際博覧会条約に基づく大阪・関西における2025年日本国際博覧会の準備及び開催運営を行い、博覧会を成功させることをもって、国際連合の掲げる持続可能な開発目標の達成に貢献するとともに、我が国の産業及び文化の発展に寄与する。

■ 役員

〔理事〕

- ・中西 宏明 日本経済団体連合会 会長
- ・松本 正義 関西経済連合会 会長
- ・尾崎 裕 関西商工会議所連合会 会長
大阪商工会議所 会頭
- ・黒田 章裕 関西経済同友会 代表幹事
- ・立石 義雄 京都商工会議所 会頭
- ・家次 恒 神戸商工会議所 会頭
- ・三村 明夫 日本商工会議所 会頭
- ・小林 喜光 経済同友会 代表幹事
- ・松井 一郎 大阪府知事
- ・吉村 洋文 大阪市長
- ・井戸 敏三 関西広域連合長

〔監事〕

- ・小原 正敏 大阪弁護士会 元会長
- ・中務 裕之 日本公認会計士協会近畿会 元会長

■ 当面の事業計画の概要

1 博覧会の計画に関する事業の実施

- (1) 登録申請書の作成及び基本計画の策定に向けた検討
- (2) 会場整備計画、催事・儀典行動計画等の検討
- (3) 環境影響評価手続きの実施

2 その他博覧会に関する事業の実施

- (1) シボルマークの制定、パンフレット等による広報・啓発活動の実施
- (2) 博覧会国際事務局（BIE）等国際関係調整

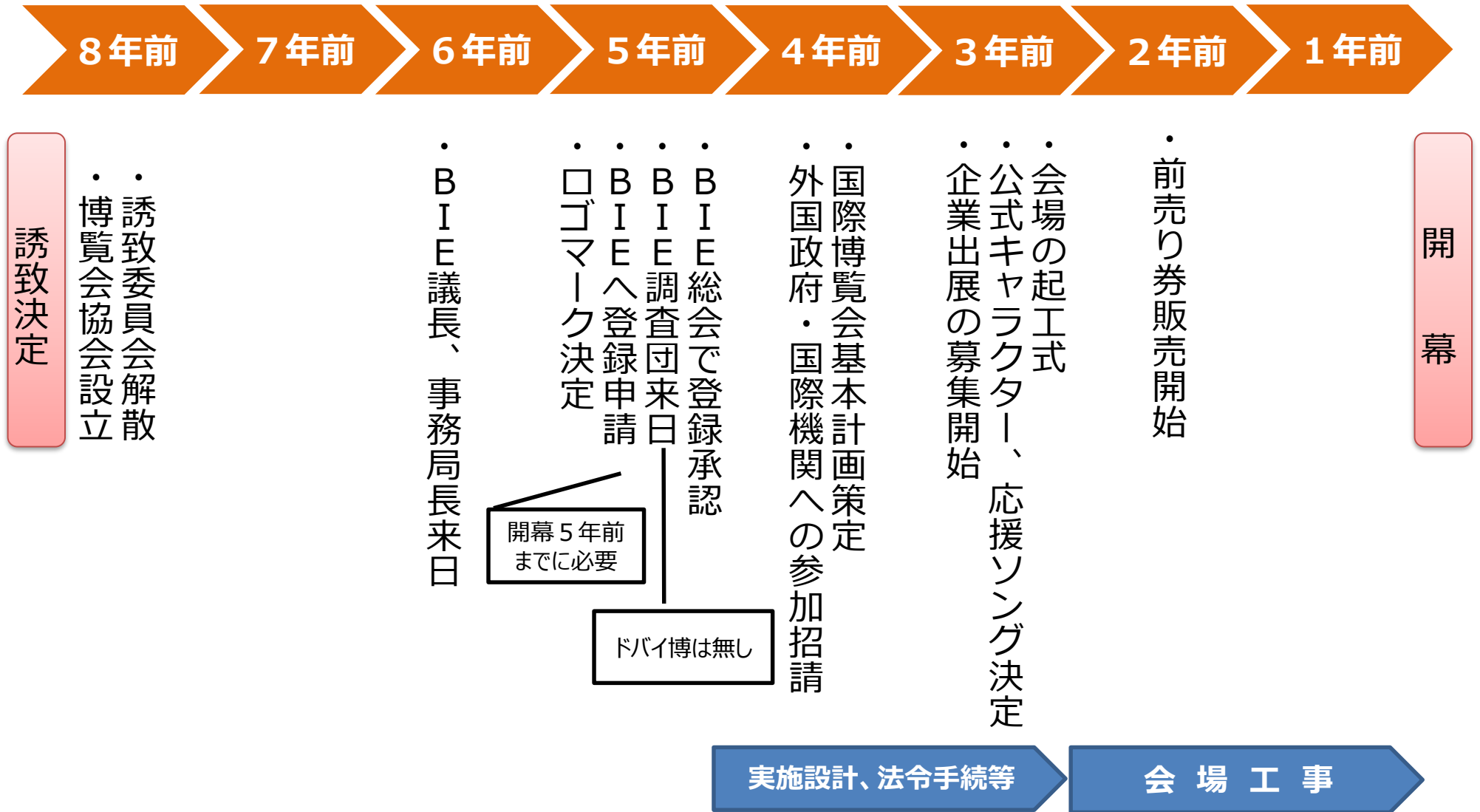
3 事務局体制の整備・強化と財政基盤の確立

- (1) 事務局体制の整備・強化
- (2) 財政計画の策定と予算の効率化・効果的な執行
- (3) 財政基盤強化に向けた具体的資金調達（寄付金等）の取組み

■ 事務所

大阪市住之江区南港北1丁目14-16（大阪府咲州庁舎43階）

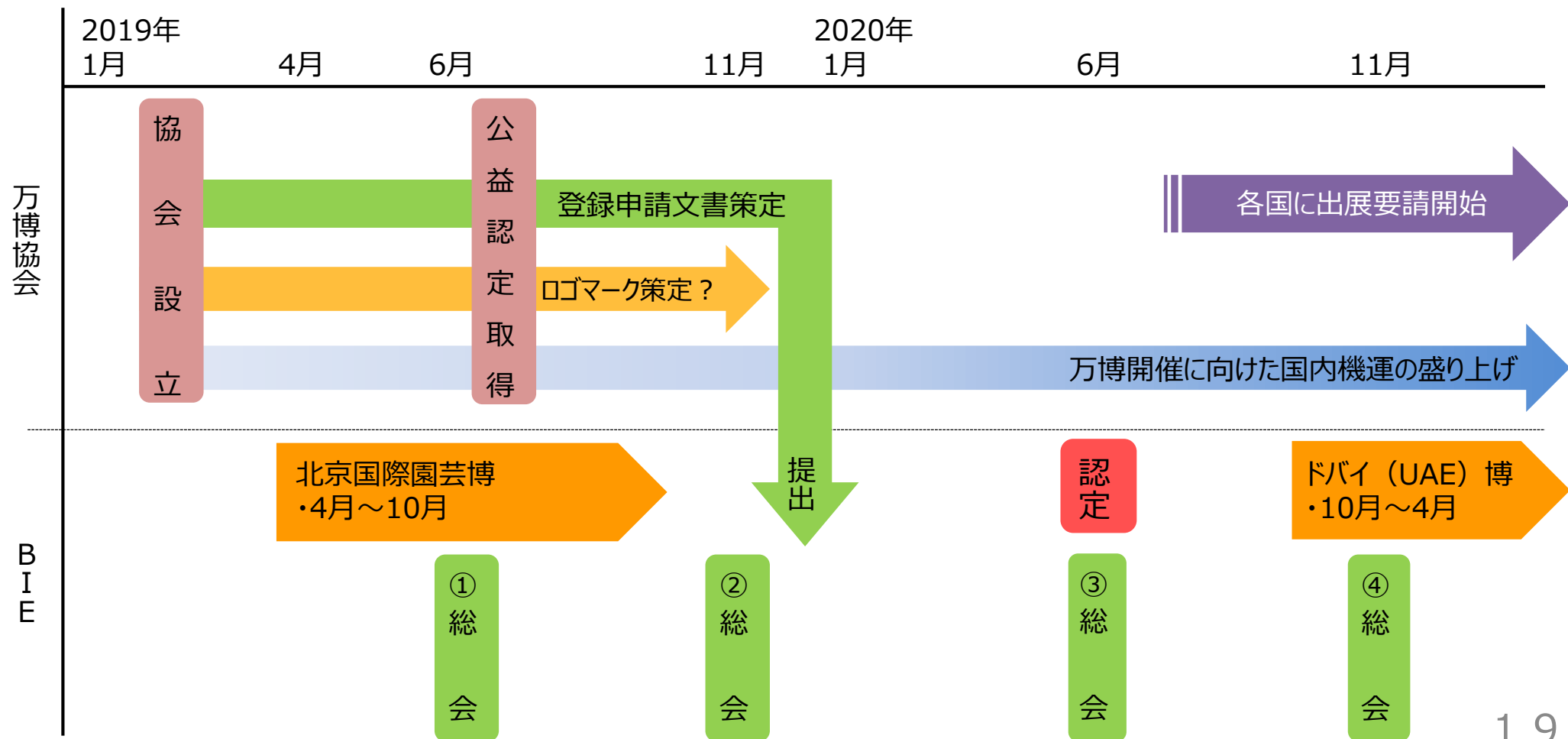
参考 / 2005年愛・地球博の誘致決定から開催まで



※2025大阪・関西万博の場合、上記より約1年半期間が短い

■ 当面のスケジュール（案）

- 2025年日本国際博覧会協会は1月30日に発足。今後、公益認定の取得をめざす
- 立候補申請文書（ビッド・ドシエ：2017年9月提出）をより精査した登録申請文書を策定し、2020年5月（万博開催月の5年前）までにBIEへ提出
- 登録認定後、各国に出展要請を実施



ご清聴、ありがとうございました。